

## 協働の森づくり事業

平成22年度から、高知県、梼原町、梼原町森林組合と「協働の森づくり事業」のパートナーズ協定を結び「森林の再生」と「交流の促進」を柱とした取り組みを行っています。現在の協定森林は梼原町川井地区で29.49haとなっています。

四国クリエイト協会では、毎年秋に間伐体験交流会を実施していますが、コロナ禍のため中止していた間伐体験交流会を3年ぶりに実施しました。

令和4年10月29日に職員32名が四国各地から梼原町に集い、除伐作業などを体験し、自然の豊かさに触れるとともに、自然を相手に作業を進めることの大変さを体験しました。今後も梼原町の皆様と交流を図り、地域活性化や環境保全に貢献してまいります。

また、協働の森づくり事業は、森の育成によるCO<sup>2</sup>削減のみならず、保水力向上などを目指した森林保全を通じて、国土の保全「防災活動」にも繋がっています。



▲パートナーズ協定林の看板の前で記念撮影



▲枝打ち体験



▲除伐作業中

## ■「道の駅」に防災備品を支援

四国には89の道の駅があり、道路利用者や地域の皆様のための休憩機能、情報発信機能、地域連携機能が備わっています。地域の顔として道路利用者の皆様に利用されているだけでなく、災害発生時には地域の避難所として、また防災拠点としての役割を担っています。

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害においても、道の駅は主要な道路に面して位置し、広い駐車場があること、トイレが整備されていることから、防災拠点として物流の集積地、緊急車両の基地、被災者の避難場所として活用されてきました。

四国クリエイト協会では、南海トラフ巨大地震と、それに伴う大津波の発生が予想される四国の状況を踏まえ、道の駅の防災機能向上のため、四国管内の道の駅に防災倉庫、防災用品を寄贈する活動を平成28年度から実施しています。令和4年度は、9駅(延べ48駅)に寄贈いたしました。

防災用品については、豪雨災害時に発電機が現場で使用された他、平時の防災訓練においても非常用トイレの組み立て訓練や発電機の使用訓練などに役立てていただいています。また、寄贈に際し各施設管理者の皆様から感謝の声をいただいています。

今後とも道の駅への防災倉庫設置等を進め、道の駅の防災能力を向上していただくために、継続的に取り組みの充実を図ってまいります。



▲贈呈式 道の駅「とよはま」(観音寺市)



▲贈呈式 道の駅「虹の森公園まつ」(松野町)



▲贈呈式 道の駅「美良布」(香美市)



▲贈呈式 道の駅「よって西土佐」(四万十市)



▲贈呈式 道の駅「四万十とおわ」(四万十町)